

令和5年度 学校評価アンケート集計結果

聴覚支援学校平校

○回答数: 保護者11名(回答率100%)

A(+2.0): そう思う

B(+1.0): どちらかといえばそう思う

C(-1.0): どちらかといえばそうは思わない

D(-2.0): そう思わない

※評価点はAを+2.0、Bを+1.0、Cを-1.0、Dを-2.0として加算し、回答数で割った平均値です。

		項 目	評 価				
I-1 自立と社会参加に向けた指導の充実	1	人とかかわり合うためのコミュニケーション能力や社会性を育成するため、学級や学部の枠を超えた合同学習や行事等の指導を充実させます。	A	B	C	D	評価点
	保	平校の教員は、学級や学部の枠を超えた合同学習や行事等の指導を充実させていたと思いますか。	11				2.0
	2	自立し、社会参加する力を育むために、幼児児童一人一人の聴覚障がいの状態や特性、発達の段階に応じて、自立活動の指導を充実させます。	A	B	C	D	評価点
	保	平校の教員は、お子さん一人一人に合わせて、自立活動の指導を充実させることができたと思いますか。	10	1			1.9
	3	交流及び共同学習においては、交流校及び交流保育園と「個別の教育支援計画」を用いて合理的配慮を確認し、共通理解のもと指導にあたります。	A	B	C	D	評価点
	保	平校の教員は、交流及び共同学習において、お子さんと交流先の幼児児童がお互いに学び合える環境を作っていたと思いますか。	10			1	1.6
	4	キャリア教育の充実を図るため、進路に向けた本人や保護者との丁寧な話し合いや「聴覚障がいのある先輩方との交流」を推進します。	A	B	C	D	評価点
保	平校の教員は、聴覚障がいのある先輩方との交流や進路に向けた本人や保護者との話し合いを丁寧に進めることができたと思いますか。	9	2			1.8	
I-2 主体的に思考する力と豊かな心の育成	1	ICT活用を通して、主体的に学習に取り組む力を育成します。	A	B	C	D	評価点
	保	平校の教員は、タブレット端末等のICT機器を活用して、お子さんが主体的に学習に取り組めるよう指導・支援していたと思いますか。	4	7			1.4
	2	読書活動や道徳の指導を充実させ、豊かな心を育成します。	A	B	C	D	評価点
	保	平校の教員は、お子さんが積極的に県立図書館やいわき市立図書館の移動図書館を活用できるよう指導・支援していたと思いますか。	6	5			1.5
3	体験的活動を積極的に取り入れ、幼児児童が自ら、思考・判断・表現する力を育成します。	A	B	C	D	評価点	
保	平校の教員は、体験的活動を積極的に取り入れ、幼児児童が自分から、思考・判断・表現する力を育成することができたと思いますか。	11				2.0	
I-3 一人一人の実態を踏まえた言語力	1	全職員が聴覚障がい教育の専門性の向上を図るために、聴覚保障に関する実技研修を行います。	A	B	C	D	評価点
	保	平校の教員は、専門性の向上を図るため、聴覚保障に関する実技研修の取組を行っていたと思いますか。	8	3			1.7
	2	言語力を高めるため、教職員は手話力や日本語指導力向上のための研修を行います。	A	B	C	D	評価点
	保	平校の教員は、幼児児童の言語力を高めるため必要な研修を行っていたと思いますか。	6	4	1		1.4
3	外部の専門家を招聘し、教員自ら課題意識を持って授業研究会を実施し、授業力の向上を目指します。	A	B	C	D	評価点	

の育成	保	平校の教員は、外部の専門家を招聘しての授業研究会を実施することで、授業力の向上が図られたと思いますか。	9	2			1.8
	1	毎月安全点検等を実施し、幼児児童の安全と安心の確保に努めるとともに、個人情報及び情報セキュリティの管理を徹底します。	A	B	C	D	評価点
II 安全で安心な学校づくり	保	平校の教員は、幼児児童の安全・安心の確保及び個人情報の適切な管理に努めていたと思いますか。	8	3			1.7
	2	食育の推進と安全で楽しい学校給食の充実を図ります。	A	B	C	D	評価点
	保	平校の教員は、お子さんが安全で楽しく給食を食べることができるよう努力していたと思いますか。	11				2.0
	3	特別活動や道徳教育において、いじめに対する指導を行い、また家庭と強く連携をとりながら、教職員が組織として予防的な対応を心がけます。	A	B	C	D	評価点
	保	平校の教員は、いじめ防止委員会を中心に組織的に、いじめの未然防止に努めていたと思いますか。	8	3			1.7
	4	防災・防犯教育や放射線教育の充実を図るとともに、新型コロナウイルス感染症などの感染症予防対策に努めます。	A	B	C	D	評価点
	保	平校の教員は、避難訓練や不審者対応訓練、放射線教育を適切に実施するとともに、新型コロナウイルス感染症などの感染症予防対策を十分に行っていたと思いますか。	7	4			1.6
III センター的機能の充実	1	地域の関係機関や保健師等と連携し、0歳からの乳幼児教育相談を行います。		B	C	D	評価点
	保	平校の教員は、地域支援センター「みみらんど・いわき」の充実を図るために努力していたと思いますか。	9	2			1.8
	2	教育事務所や市町村教育委員会、近隣の特別支援学校と連携し、幼稚園や保育所、学校等に在籍する聴覚障がいのある子どもへの支援を行います。	A	B	C	D	評価点
	保	平校の教員は、いわき地区幼稚園や保育所、学校等に在籍する聴覚障がいのある子どもへの支援を積極的に行っていると思いますか。	8	3			1.7
	3	地域における聴覚障がい教育の専門機関として学習会や研修会を開催し、地域に発信します。	A	B	C	D	評価点
保	平校の教員は、聴覚障がい教育の専門機関として、学習会等の実施と地域への発信に努めていたと思いますか。	8	2	1		1.5	

<保護者の皆様よりの御意見>

・「ことば」がなくなり、「言語力」そして定義までされているのがすばらしく、昨年と大きな違いと感じました。ただ読み進めると日本語を表現する方法が文字、音声、手話などというようにも読み取れます。手話力とは、ひらがな、カタカナと同じような扱いなのか？と疑問視されます。手話は言語だと札幌では日本手話クラスがあり、奈良でも標語になっております。是非参考にしてください。

・学び合える環境づくりは、未就学児には難しいのではないのでしょうか？園児に、幼稚部の子にどういったことを学ばせるのかあいまいです。配慮するのが園児側だけに求められているようでアンバランスな気がします。交流先でどのような目的で何を行うのか？個人的にはただ楽しむだけで良いと思うのですが。書面で保護者全体に提示はないので評価しづらいです。子どもは楽しんでいるので交流自体はとてもよいと感じていますが目的？となると分からず。

・本分校とのオンライン交流とても良いと思います。ぜひ回数を増やしてください。

・1学期末にいただいた図書館で借りた冊数の表彰状はうれしかったようですが、家の中では借りた本の話はないです。

・Noteなどで拝見しています。「思いつきを口にしたら形になる」体験の積み重ね大事だと思います。

・具体的に手話力が伸びたとは分かりにくく、日本語指導力も指標となる検定などないですもんね…。手話力があっても、手話や、ろう(きこえないこと)への理解はまた別かとも感じます。英語ペラペラでも英語圏の文化、生活様式を知るとは違いますよね。子は幼稚部で手話を使っている先生は一人だけと感じています。

・フィードバックをきかせていただけるので心強く感じます。

- ・部屋が広すぎるからか、皆1つのテーブルを囲んで食べるのもっと楽しくなるだろうなとは思っていますが。
- ・行っているとは思っていますが、どういう内容か具体的には見えづらく…。個人情報などもあると思いますが、支援先の様子も知りたいです。

